

会議名	令和2年(2020年)度第2回愛荘町立歴史文化博物館協議会
開催日時	令和2年(2020年)11月26日(木)午後2時～午後3時30分
開催場所	愛荘町立歴史文化博物館
出席者	<p>【委員】6人  岡部委員長、村田委員、門脇委員、梅原委員、小川委員、村川委員、大橋委員(欠席)</p>
事務局	<p>【事務局】6人  徳田教育長、青木博物館館長、三井課長補佐  西連寺学芸員、山本学芸員、大友理事員</p>
傍聴者	(公開) 傍聴者なし
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員長、副委員長の選出</li> <li>2. 令和2年度事業報告</li> <li>3. 令和3年度事業計画</li> <li>4. 意見交換</li> </ol>
問合せ先	歴史文化博物館 電話番号:0749-37-4500

協議内容	<p>議題1について</p> <p>令和2年度愛荘町立歴史文化博物館協議会の委員長および副委員長の選出を行う。(任期:令和4年3月31日まで)</p> <p>委員長: 岡部 正治 副委員長: 村田 賢司</p> <p>議題2について</p> <p>事務局より資料に基づき報告し、令和2年度第1回協議会報告(書面による報告)後に開催されたイベントの結果を併せて報告した。</p> <p>議題3について</p> <p>事務局より資料に基づき、令和3年度事業計画について報告した。</p> <p>議題4について</p> <p>議題2・3について各委員より下記の質疑応答があった。</p> <p><b>【今年度のコロナ対策について】</b></p> <p>(委員)</p> <p>湖東焼の展示解説の際、24, 5 人来られ、密になりかねない状況があった。マイクを使用するなどして遠巻きに観覧していただくようにする工夫としては如何か。こういう時期なので十分に考えていただきたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>予想を上回る観覧者であったため、密になりかねない状況であったが、今後の対応については解説時間を短縮やマイクの使用など、十分に検討して対処する。</p> <p>4月18日から5月13日までコロナ対策の休館としたが、他の博物館・美術館でも特に来館者の滞在時間短縮を考えており、当館も常設展示室、特別展示室の立入を禁止、特別展・企画展のみの観覧に制限、休憩ソファを撤去、観客滞在時間の短縮を図った。ただ、会期中、休憩イスを置いて欲しいとの外部意見があり、数を減らせて設置し直した。</p> <p>また、当然のことながら、マスク着用、アルコール消毒、体温計測は徹底した。</p> <p><b>【展示について】</b></p> <p>(委員長)</p> <p>第33回企画展「つぎはぎの仕事着」の展示資料は既に揃っているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>大方の展示資料は揃っている。</p> <p>(委員)</p> <p>報告の中に西澤眞蔵記念館の利用団体として秦荘西小学校があるが、</p>
------	---

郷土学習のためには、小さい頃から見聞することが必要と思う。教育長が出席なのでお願いしたいが。郷土愛を持たせるためにこういった企画を増やすのがいいのではないか。

(教育長)

その通りです。校外学習に交通手段など問題はあるが、町内さほど広いエリアではないので、広く郷土に親しみを持ち、歴史・文化への理解を深めるためには非常に大事なこと。今後、校外学習と博物館の利用をセットに考えるなど、工夫次第と考えている。足元から地域を知り、理解するということは大事なこと。再度、学校長・管理職を含めて考えて行きたい。

(事務局)

秦荘地区の学校では、既に火起し体験などの行事に馴染んでおり、学校側から申し込んでいただいている。しかし、愛知川地区の学校では前々から校長などに話をしているが、なかなか時間が取れないようである。

しかし、最近は中山道や宿場の話、びん細工てまりの話をして欲しいという要望があり、度々出前授業を実施している。

教育長の考えておられるように、地域の垣根を取り払って、根底から郷土学習というものを博物館としても取り組んでいかねばならない。

今年も愛知川の小学校から町内の城跡や古墳の話を希望されて、コロナ対策をしつつ出向いている。また、教育委員会からも各学校の授業カリキュラムに組み込むよう、お話いただけるとよい。

**【博物館のPRについて】**

(委員)

町広報に愛知川・秦荘の観光協会が合併した記事があり、そこで町長が「地域の良い所を継承していくこと、また、それを発信していかなければいけない」旨をコメントされている。中山道愛知川宿街道交流館でも、博物館で何時どのような催しをしているか等のPRをしてもらいたい。愛知川地区の人で町の博物館を知らないという人がおり、そういう意味でもっと考えていって欲しい。

(事務局)

同感です。博物館からは、ホームページやチラシ等でPRに努力しているが、愛荘町の博物館は、「歴史の展示」というイメージが強く、ハードルを高く感じられている。しかし、最近は「モラ」など美術的展示を取り入れたり、玩具展を開催したりと現代的な展示を行い、ハードルを低くしている。

今回の「コクヨ展」などもそうだが、一般に馴染みやすい展示も視野に入れたため、愛知川方面からの来館者も増える傾向にある。

**【その他】**

(委員)

臨時休館の後、特別展示のみの開館だったが、常設展示が見たいという人もいた。「密」を避けるためには常設展も空けて、会場の空間を広げたほうがよかったのでは。

(事務局)

当初は、滞在時間を短縮していただくための措置であったが、今後はこういったことも踏まえて対応する。

・審議終了後に令和2年度秋季特別展「紙製品への思い」の観覧を行う。